

日本医学教育学会

プロフェッショナリズム・行動科学委員会主催

第6回医学教育シンポジウム

医学生・研修医の性的非行に どう対応し、どう防ぐか

シンポジウム開催報告書

開催日：平成29年9月18日（月・祝）13:00～16:30

会場：東京大学本郷キャンパス 医学図書館（医学部総合中央館）3階 333会議室

当委員会の前身である倫理・プロフェッショナリズム委員会では、近年急速に発展しつつある学際的な「道徳性の科学」に基づいた新しい「医のプロフェッショナリズム」の確立を目指して、2013年までに5回のシンポジウムを開催し、プロフェッショナリズムに関する理解を深めて参りました。

しかしながら残念なことに、それから2年が過ぎた2016年から、医学生や研修医による性的非行事件が繰り返しメディアを騒がせ始め、関係者の間に衝撃が広がっています。どの医育機関でも起こり得るこのような事態に対し、私たちはどのように対応し、どのように予防すべきなのでしょうか。

そこで当委員会では、学習者のアンプロフェッショナルな行動への対策を検討するシンポジウムを連続して開催することを計画致しました。その1回目は、大学における性的非行の実態や、被害者保護および教育のあり方、および、アルコール影響下での意思決定能力の変化について、それぞれのエキスパートをお招きして基調講演を頂き、医育機関としての対応について議論を深めたいと思います。

目次

- ・表紙
- ・目次……………p. 2
- ・島根大学教育・学生支援機構保健管理センター 准教授 河野 美江 先生
「大学・研修病院における性暴力への対応 ～被害者支援から予防まで～」……………p. 3
- ・千葉大学医学部精神医学講座 教授 伊豫 雅臣 先生
「学生や研修医を被害者・加害者にしないために ～アルコールによって起こる
様々な危機的状況～」……………p. 22
- ・シンポジウムを終えて 野村 英樹（金沢大学附属病院総合診療部）……………p. 43
- ・奥付……………p. 44

大学・研修病院における性暴力への対応 ～被害者保護から予防まで～

島根大学
保健管理センター
学長特別補佐（男女共同参画担当）

河野 美江

2017.9.18 第6回医学教育シンポジウム

日本医学教育学会 COI開示

筆頭演者名：河野 美江

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

有名大学・病院 運動部 飲み会
医学部 研修医・男子学生
集団レイプ

被害者

大学・病院コミュニティの傷つき
(学生・患者, 教職員, ブランドイメージ)

本日の目的

性暴力を理解し、性暴力被害者支援、性暴力
予防について考える

目標

性暴力のない大学・研修病院にする

1.性暴力とは

性暴力被害の様々な影響

性や妊娠・出産に関わる健康への影響

- ・望まない妊娠
- ・性感染症 など

身体への影響

- ・被害による負傷
- ・眠れない、悪夢
- ・めまいや吐き気、痛みなど様々な身体の不調

心への影響

- ・恐怖、不安、自責感、怒りなどの様々な感情
- ・感覚や気持ちの麻痺
- ・気分の落ち込み など

社会生活や

対人関係への影響

- ・仕事や学校に行けない
- ・外出したり活動ができない
- ・人に会いたくなくなる
- ・人間関係が悪くなる など

一人じゃないよ (独) 国立精神・神経医療研究センター

性犯罪と性暴力

身体の統合性と性的自己決定を侵害するもの

国連「女性に対する暴力に関する立法ハンドブック」

性暴力

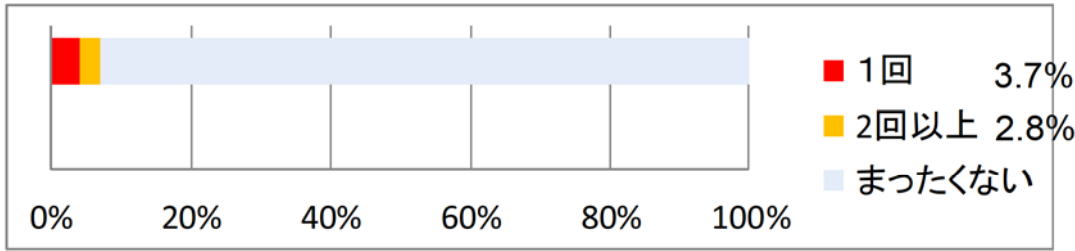
同意がなく強要されたすべての性行為

性犯罪

刑法上の強制性交等罪、強制わいせつなどの性的欲求等に基づく身体犯

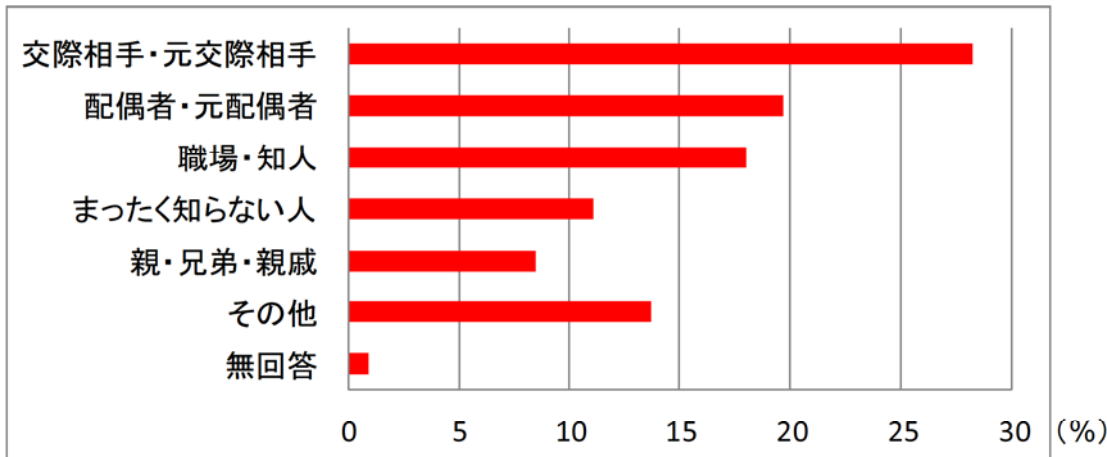
異性から無理やりに性交されたことがあるか？ (n=1,811)

あり 6.5%



加害者との関係 (n=117)

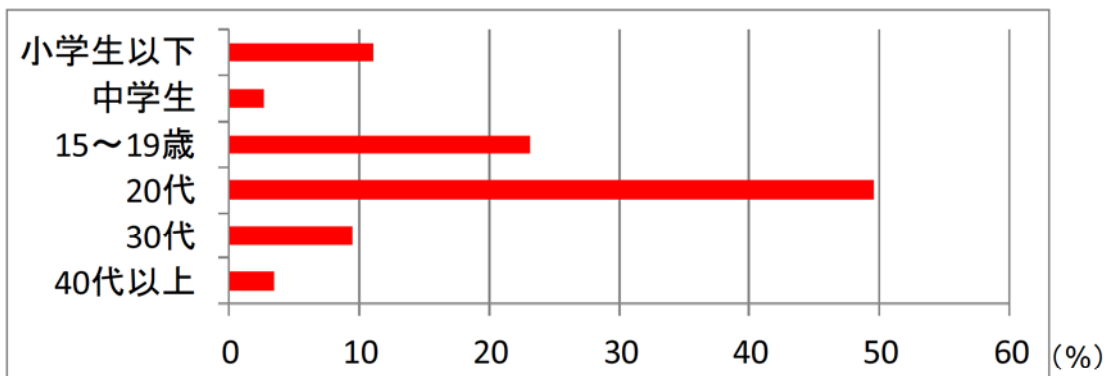
見知らぬ人 11.1%



男女間における暴力に関する調査 (平成26年度調査)

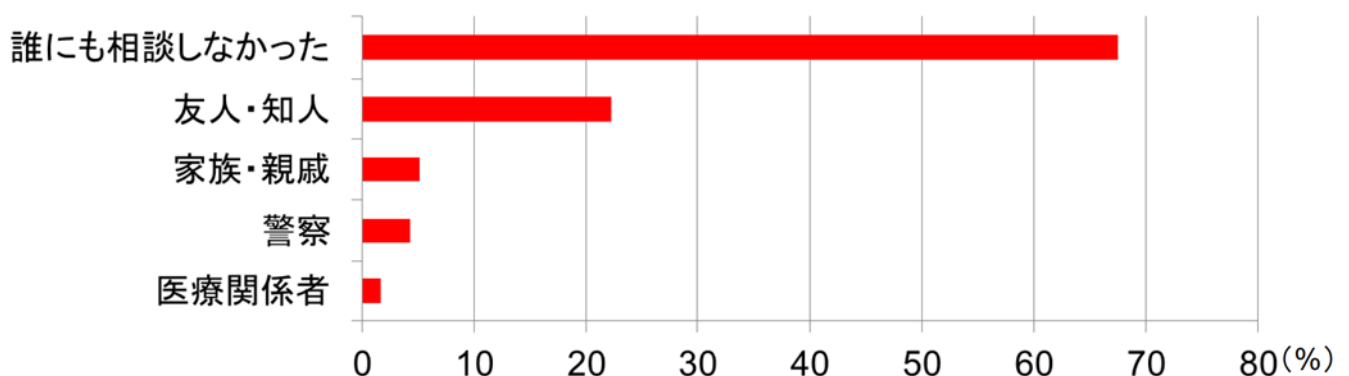
被害にあった時期 (n=117)

「20歳まで」が35.8%



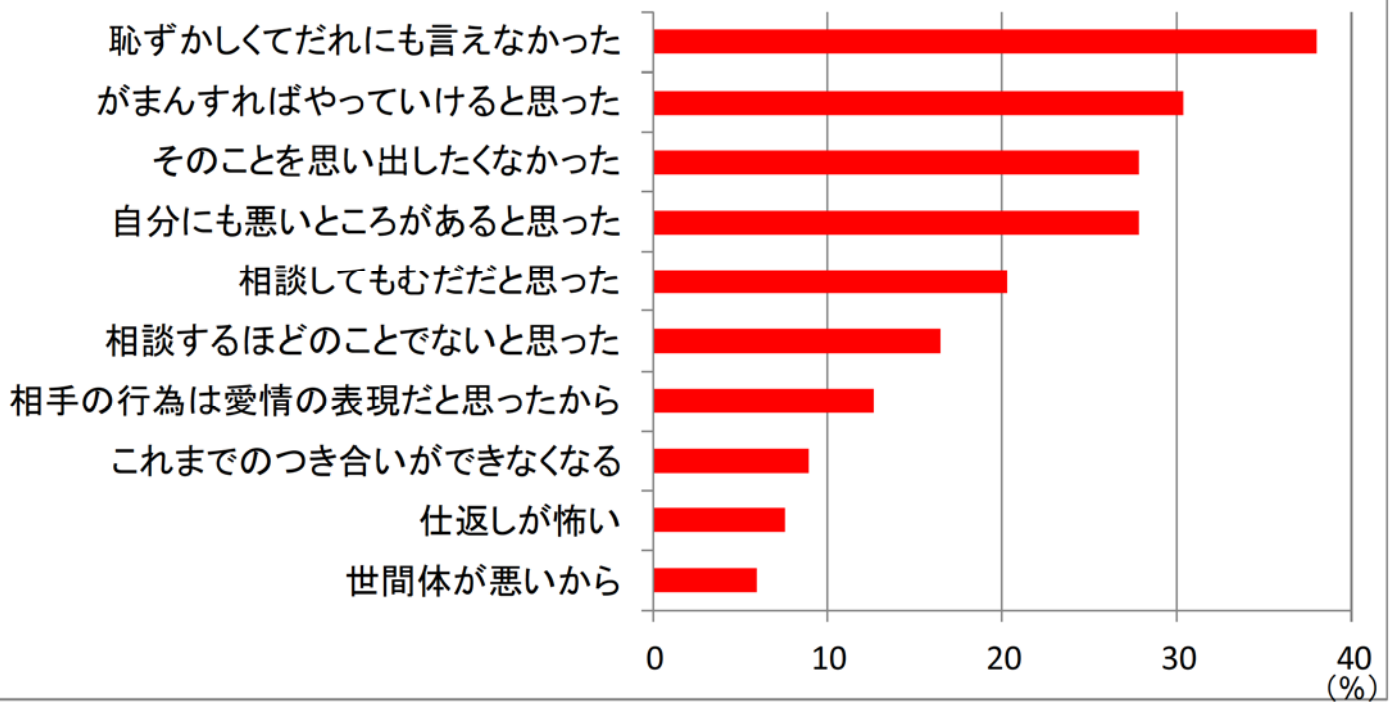
被害の相談先 (複数回答)

「誰にも相談しない」が67.5%



男女間における暴力に関する調査 (平成26年度調査)

相談しなかった理由 (複数回答)



男女間における暴力に関する調査 (平成26年度調査)

レイプ神話

レイプやレイプ被害者、レイプ加害者に対する、偏見を抱かせるステレオタイプの、あるいは誤った思い込み

Burt (1980)

1. 若い女性だけがレイプ被害にあう

- 乳幼児から高齢者まで、すべての年代の女性が被害にあっている
- 女性だけでなく、男性から男性への性暴力も存在する



2. レイプは、女性側の挑発的な服装や行動が誘因となる

- 実際には被害女性の多くが挑発的な服装や行動はしていない
- むしろ加害者は、地味な服装の女性を「おとなしそうで、訴えないだろう」と、ねらうことがある
- 女性の服装がどうであれ、犯罪を正当化する理由にはならない



3. レイプ加害者のほとんどは、 見知らぬ人である

- 被害者の約9割が面識のある人から被害を受けている
- 顔見知り、職場関係、家庭内等での被害は警察に被害届を出すことをためらい、被害届を出しても受理されないケースがめだつ



4. レイプはほとんど暗い夜道や ひと気のない場所で起こっている

- 2015年度に都内で発生したレイプ事件のうち、約58%が住宅、14%がホテル・旅館などで発生
- 知らない人に夜襲われることを前提とした「危険だから夜は出歩くな」の忠告は全くの的外れ

※「こんな時間、場所がねらわれる」警視庁

5. レイプは加害者の性欲が強すぎて、コントロールできずに起こっている

- 性暴力は、支配、征服、所有の欲望が性的行為というかたちになったもので、多くは計画的な犯行である
- 多くの加害者には性的パートナー（恋人、妻など）がいる



6. 自ら進んで酔っぱらった人は、レイプされても文句を言えない

- 大学のサークル等で起こる性暴力は「先輩後輩という上下関係」のもとで、「飲酒の場」を使って行われることが少なくない
- お酒は「相手の正常な判断能力や抵抗力を失わせる」手段として使われる

本当の同意の条件

- お互いが、情緒的にも理解力の上でも**対等**
- お互いに、相手を大切に思う気持ち（**誠意**）がある
- お互いのこと（価値観や信念）をよく**理解**していること
- 同意しなくても罰や攻撃を受ける**おそれがない**
- その行為によって生じること（**可能性**）を理解している

相手を泥酔させて同意の判断ができない状態での性行為は、準強制性交等罪という「犯罪」

「マイステップ」より 野坂祐子

7. レイプされた被害者は しばらく泣き暮らす

- 被害直後に、被害者が日常を早く取り戻そうと、一見、何事もなかったかのように暮らす場合もある
- ケラケラ笑ったり、「よくわからない」と言うなど、言動が不可解なことがある
- 性暴力被害はPTSD、抑うつ、解離が生じやすい

8. 本気で抵抗すればレイプされない

- 「なぜ嫌と言わなかったか」「どうして逃げなかったか」などとよく言われる
- 被害者は恐怖心から凍りついたようになってしまい、声をあげることすらできないことが多い



9. 女性は感情的になりやすく、物事を誇張して言ったり、男性を陥れるために嘘をついたりする

- 大半のレイプ被害者は、警察にすら通報しない
- 言っても信じてもらえないから、とってしまったため、レイプ被害者が警察に通報する割合は、わずか4.3%
- 勇気を出して告発した人の言葉を頭から疑うことは避けるべき

二次被害（セカンドレイプ）になりうる言葉

- ・ どうして逃げなかったの
- ・ 何をやっていたの
- ・ なぜ、助けを呼ばなかったの
- ・ 思ったより元気そうだね
- ・ しっかりしているから大丈夫
- ・ 早く忘れた方がいいよ
- ・ これくらいで済んでよかった
- ・ ~よりまだましですよ
- ・ つらいのはあなただけじゃない
- ・ 気にしないで
- ・ 大丈夫、よくなりますよ
- ・ がんばって！しっかり
- ・ 私だったら気が狂ってしまう
- ・ こうすればよかったのに・・・
- ・ なぜ、もっと早くに話さなかったの

私たちが気をつけることは
セカンドレイプをしないこと

2.性暴力被害者支援

性暴力被害がおこったら・・・

18歳女性

レイプ被害にあい、産婦人科外来を受診した

こんな時、できることがたくさんある

1. 産婦人科での対応
2. 精神面への対応
3. 警察への連絡
4. 家族・友達への対応
5. 法的支援

1. 産婦人科での対応

- ・ 妊娠
- ・ 緊急避妊ピル（ノルレボ錠）
（性交の72時間以内に内服）
- ・ 妊娠判明後に来院した場合、
妊娠継続について話し合い
自己決定してもらう
- ・ 性感染症検査と治療
- ・ 淋病、クラミジア、梅毒、HIV、B型肝炎
- ・ 証拠採取



CQ2 性暴力被害者への対応
はどうすればいい？



2. 精神面への対応

レイプはPTSDになりやすい
自然災害3%、戦闘50%、レイプ60%

急性ストレス障害

- ・心理教育
- ・本人への支援
- ・家族の理解
- ・投薬

心的外傷後ストレス障害 (PTSD)

- ・精神科医、臨床心理士による専門的な治療
- ・家族の理解
- ・投薬

安全な環境づくりがまず第一

4週間

数カ月～数年

3. 警察への連絡

警察でできること

- ・被害者の安全確保
- ・被害届を出し、加害者逮捕につなげる
- ・初診料、緊急避妊、診断書料等が公費負担に
- ・加害者の証拠採取

採取可能なワンストップセンターあり

行政、ワンストップセンターで負担もあり

警察への連絡は、
説明した上で本人が決める

4. 家族・友人への対応

大切な人が被害にあうと、家族や周囲もショックを受け、どのように対応してよいかわからなくなる

身近な人ができることについて心理教育

- ・ 被害者を一人にしないで、誰かがそばに付き添う
- ・ 被害者が話す時には丁寧に耳を傾け、相談相手になる
- ・ 被害者の気持ちや意思を尊重する
- ・ 被害者の身体に注意し、医療的ケアを勧める
- ・ 食事や睡眠がとれているかを確認し、食事や買い物の手助けをする

一人じゃないよ (独) 国立精神・神経医療研究センター

5. 法的支援

- ・ **警察に被害届を出した時**
刑事事件の被害者側の弁護士
民事裁判・示談交渉等の代理人
- ・ **警察に被害届を出さない時**
民事裁判・示談交渉等の代理人

この前のごめんね！
怒ってる？

また会いたいね♡

弁護士が交渉することで、被害が止むことも多い

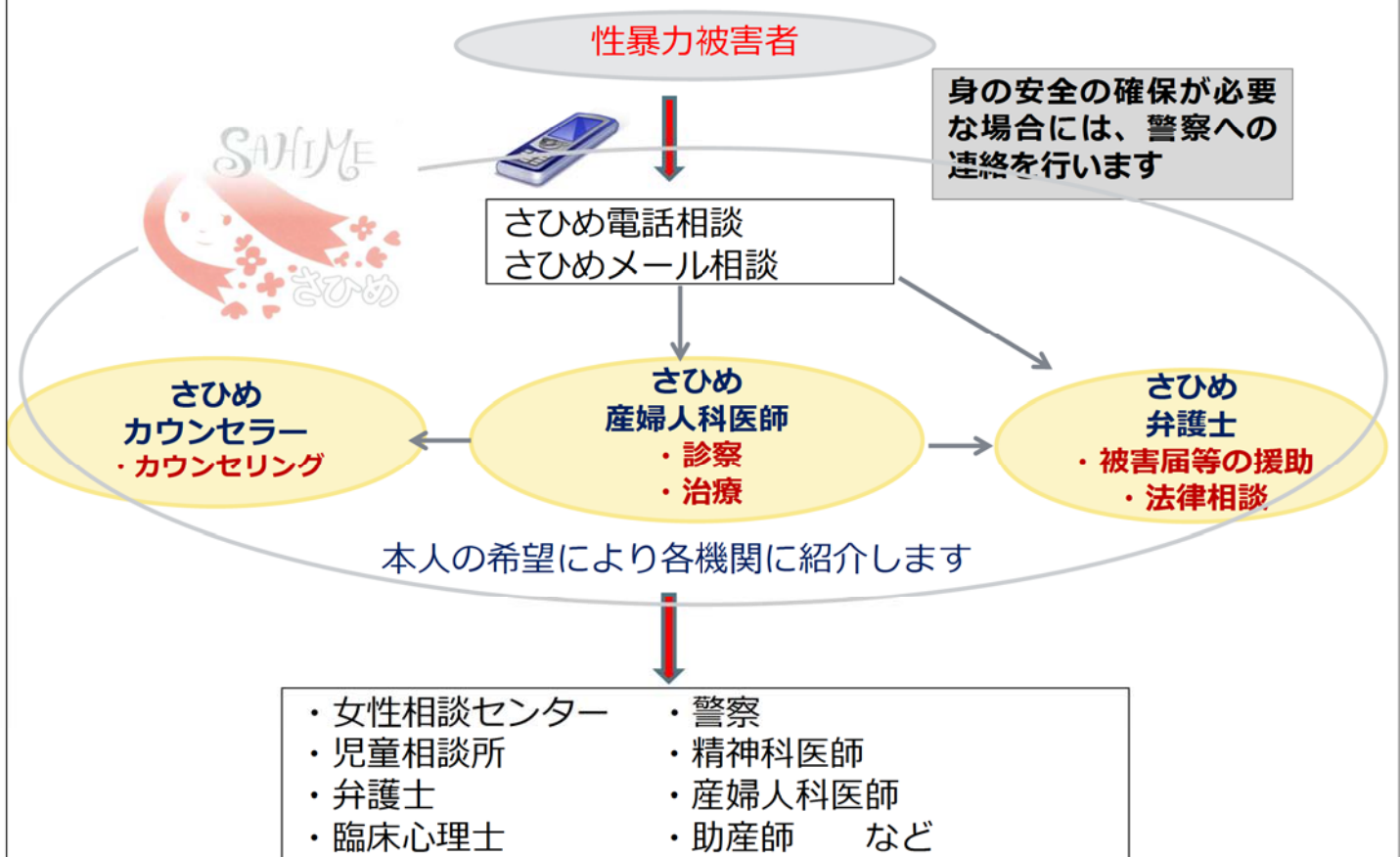
性暴力被害者ワンストップ支援センター

- 被害直後からの総合的な支援を可能な限り一か所で提供することにより、被害者の心身の負担を軽減し、その健康の回復を図るとともに、警察への届出の促進・被害の潜在化防止を目的とする。
- 2017年4月時点で、全国に38カ所



全国の性暴力
救援センター

一般社団法人しまね性暴力被害者支援センターさひめ



3.性暴力のない大学, 研修病院にするために

- ・アメリカ27大学 15万人以上による性被害経験調査の結果、23%の女子学生と5%の男子学生が同意のない性行為（接触も含む）、11%の女子学生が強姦・強姦未遂を経験していた。

AAU (Association of American Universities) report, 2015

- ・性犯罪者の認知の歪みに関する研究

- ・ 犯罪者には犯罪行為を正当化する考え方、態度、信念を持つ
(中和の技術) Sykes & Matza (1957)

- ・ 自己非難を緩和する (自己統制の理論) Bandura (1991)

- ・ 自己中心性を維持するために自己保護的な認知をする
(道徳的発達の見点) Gibbs (2003, 2010)

- ・ レイプ神話は、男性、社交クラブ、体育会系で、今までにレイプ教育を受けておらず、性暴力被害者を知らない学生に多く信じられている。

McMahon (2010)

性暴力の予防には、一般の人を行動変容させるプログラムが効果的



1. 被害者支援（性暴力、セクハラ、デートDVなど）

- ・ 身体的治療： UBC Urgent Care, Vancouver General Hospitalに紹介
24時間体制の看護師、医師のチームによる医療、証拠採取
警察や弁護士への紹介
- ・ 精神的支援：
 - (1)危機状況下の短期的な情緒的サポート
 - (2)サポートグループ

2. 予防教育

- ・ 学生に対するワークショップ
 - (1)被害にあった時にどうすれば良いかを教える
同意と対等なコミュニケーション
 - (2)周囲の人への教育
危険だと思ったら、直接・間接的に止める、助ける

An interview to Shilo St Cyr at SASC by Yoshie K. 9/7/2017

性暴力の予防

・ 一次予防：性暴力の予防教育

- ・ 「性暴力は決して許されないこと」を繰り返し伝える
- ・ お互いの人格を尊重しあう人権意識の育成
- ・ 困った時に悩みを打ち明けられる信頼できる
人間関係の形成

・ 二次予防：性暴力被害者に対する相談窓口 ハラスメント相談の整備

- ・ 性暴力被害を訴えやすい体制の整備
- ・ 教員、保健管理センター、学生相談室、ハラスメント
相談など関係機関の連携
- ・ 性暴力被害を受けた学生への対応（環境調整、改善）

・ 三次予防：性暴力事件発生時の対策会議や 予防法の策定

島根大学における予防教育

- 2014年より教養授業において緊急避妊ピルやワンストップ支援センターの情報提供、二次被害の防止について講義
- 2014年より地域のワンストップ支援センターと大学が共催し、学内で性暴力に関する講演会を開催



居場所のない少女たちのリアル

日時 11月29日(日)13時30分～16時
会場 島根大学松江キャンパス 大学ホール

平成27年度第3回さひめ公開講座～松江有女共同企画講座
講演 女性を取り巻く社会的問題～難民高校生を通して
講師 女子高校生サポートセンター-Colabo代表 仁藤夢乃さん



性虐待被害児の医療について

主催 しまね性暴力被害者支援センターさひめ
国立大学法人島根大学

日時 2015年9月27日(日)
13:00～15:30

会場 島根大学医学部山雲キャンパス
【臨床講義棟2階 臨床大講義室
出雲市塩沼町89-1】

講師 高瀬 泉先生
山口大学法医学・生体検疫前科医学分科
性暴力救済センター大阪・SACHICOの
府等での虐待が疑われる児童の相談対応

対象 さひめ支援員および医療・
お申込・お問い合わせ 申込締切
しまね性暴力被害者支援センター
E-MAIL: shimane.sahime@stm
FAX 0852-59-5860



性暴力被害の影響と必要な支援

講師 山本 潤氏

2017.10.15(日)
13:30～16:00

会場 松江テルサ大会議室 (松江市新日町478-18)

参加費: 無料 (資料代500円)
申込先: Fax(0852)59-5860, E-mail shimane.sahime@gmail.com



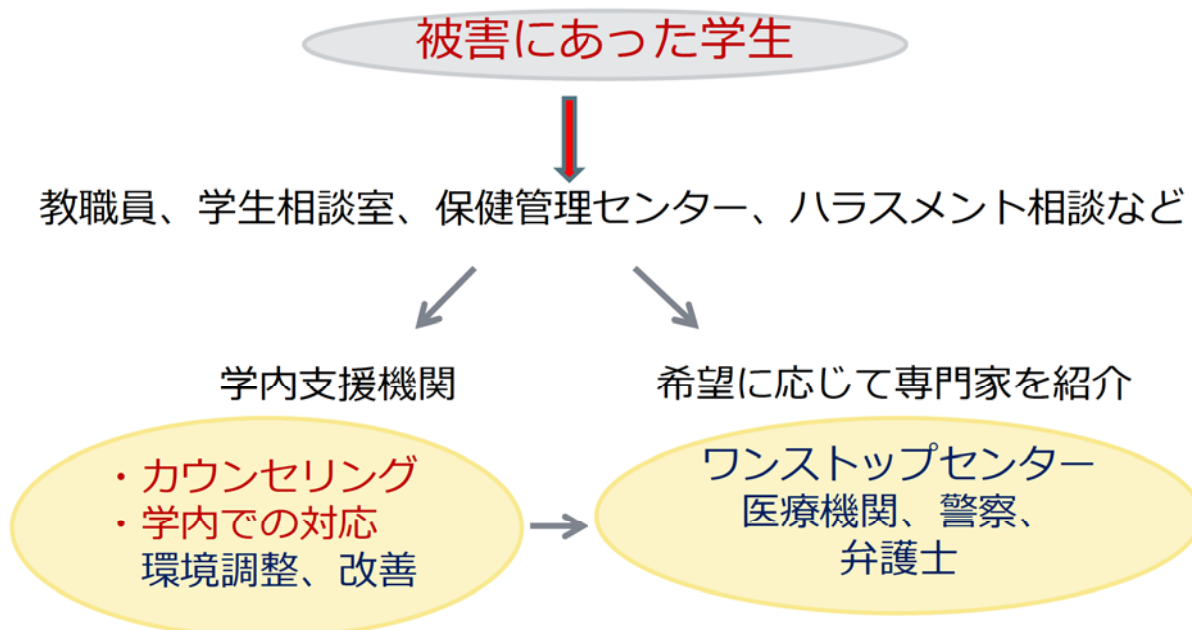
男性の非暴力宣言

～男女がともに取り組む性暴力予防～

講師
一般社団法人
ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン(WRCJ)
多賀 太 (代表理事)
安藤 哲也 (共同代表)

日時 平成29年12月10日(日)13:30～16:00
場所 島根大学川津キャンパス大学ホール
(松江市西川津町1060)
対象者 高校生・大学生・教職員・一般市民
参加費 無料(資料代500円)

性暴力被害・ハラスメントにあった学生 に対する相談体制の整備



安全な環境づくりがまず第一

この文書の著作権は「プロフェッショナルズ・行動科学委員会」及び「各執筆者」にあります。本文書を使用する際には必ず出典を明らかにして下さい。

参考文献・情報

- 『一人じゃないよ:あなたのこれからのための支援情報ハンドブック』
浅野敬子、中島聡美、金吉晴 制作 (2014)
(独) 国立精神・神経医療研究センター
<http://www.ncnp.go.jp/nimh/seijin/www/>
- 性暴力被害者への対応：河野美江
『女性医学ガイドブック 思春期・性成熟期編2016年度版』 金原出版
- 『学校危機とコンサルテーション』
細田真司、大西俊江、河野美江 編著 (2015)、新興医学出版
- 『マイ ステップ：性被害を受けた子どもと支援者のための心理教育』
野坂祐子・浅野恭子著 (2016)、誠信書房
- 『あなたに伝えたいこと：性的虐待・性被害からの回復のために』
シンシア・L・メイザーら著、野坂祐子ら訳 (2015) 誠信書房

平成29年9月18日
日本医学教育学会
プロフェッショナリズム・
行動科学委員会ワークショップ
東京大学本郷キャンパス 医学図書館

第6回医学教育シンポジウム
医学生・研修医の性的非行にどう対応し、どう防ぐか

アルコールによって起こる様々な危機的状況

不幸な事件を防ぐために知っておくべきこと

千葉大学医学部附属病院
精神神経科 伊豫雅臣

実施した講演のポイント







1. 飲酒に関わる基本知識
2. 精神科的アルコール中毒
3. 飲酒に関わる問題行動
4. 予防を見据えた解釈モデルの導入
5. 予防法の提案: 普段の生活、飲酒前、飲酒中、飲酒後

飲酒に関わる基本知識

酒の1単位

1単位:純アルコールに換算して20g

ビール	(アルコール度数5度)	中びん1本	500ml
日本酒	(アルコール度数15度)	1合	180ml
焼酎	(アルコール度数25度)	0.6合	約110ml
ウイスキー	(アルコール度数43度)	ダブル1杯	60ml
ワイン	(アルコール度数14度)	1/4本	約180ml
缶チューハイ	(アルコール度数5度)	1.5缶	約520ml

血中濃度(%)	酒量	酔いの状態
爽快期 (0.02~0.04)	日本酒 (~1合) ビール中びん (~1本) ウイスキー・シングル (~2杯)	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかな気分になる ・皮膚が赤くなる ・陽気になる ・判断力が少しにぶる 
ほろ酔い期 (0.05~0.10)	日本酒 (1~2合) ビール中びん (1~2本) ウイスキー・シングル (3杯)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほろ酔い気分になる ・手の動きが活発になる ・抑制がとれる (理性が失われる) ・体温が上がる ・脈が速くなる 
酩酊初期 (0.11~0.15)	日本酒 (3合) 3単位 ビール中びん (3本) ウイスキー・ダブル (3杯)	<ul style="list-style-type: none"> ・気が大きくなる ・大声でがなりたてる ・おこりっぽくなる ・立てばふらつく 
酩酊期 (0.16~0.30)	日本酒 (4~6合) ビール中びん (4~6本) ウイスキー・ダブル (5杯)	<ul style="list-style-type: none"> ・千鳥足になる ・何度も同じことをしゃべる ・呼吸が速くなる ・吐き気、おう吐がおこる 
泥酔期 (0.31~0.40)	日本酒 (7合~1升) ビール中びん (7~10本) ウイスキー・ボトル (1本)	<ul style="list-style-type: none"> ・まともに立てない ・意識がはっきりしない ・言語がめっちゃめっちゃになる 
昏睡期 (0.41~0.50)	日本酒 (1升以上) ビール中びん (10本以上) ウイスキー・ボトル (1本以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆり動かしても起きない ・大小便はたれ流しになる ・呼吸はゆっくりと深い ・死亡 

サントリーホームページ、(社)アルコール健康医学協会資料より

**ビール中瓶1本飲んだ1時間後に車を運転
しますか？**

最終飲酒時間と現在の酩酊度

昨夜のアルコールが残っている？

何時まで、どれぐらいの量なら良いのか？

酔いがさめるまでの時間(体内から消える時間)

一般に人は1時間で8～10gのエタノールを処理できる、または、体重1キロにつき1時間にアルコール0.1グラムが分解されるとされている。

体重約60kgの人が

- 1単位のお酒を30分以内に飲んだ場合、約3～4時間体内にとどまる。
- 2単位の場合では、約6～7時間かかる。
- 3単位の場合では、約9～11時間かかる。

*個人差があり、体質的にお酒に弱い人や女性はもっと長い時間がかかる。

夜9時から12時にビール中びん2本(2単位)と日本酒2合飲んで、朝7時に車を運転した。
(4単位入り、1単位消費されたため、夜中12時に3単位残っている)

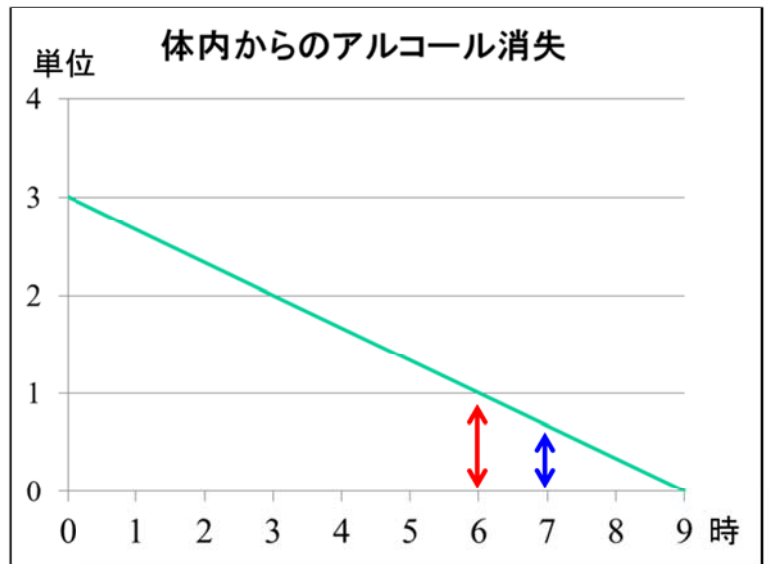
⇒朝6時にビール中瓶1本飲んだのと同じ。

1単位

ビール中びん1本(500ml)

日本酒1合(180ml)

ウイスキーダブル1杯



ナイトキャップ






寝酒

依存、精神障害まで行かなくても

- 眠りを浅くする
- 中途覚醒を増やす
- 翌日の抑うつ感
- 睡眠時無呼吸症候群

アルコール急性中毒

といえば

酩酊期 (0.16~0.30)	日本酒 (4~6合) ビール中びん (4~6本) ウイスキー・ダブル (5杯)	・千鳥足になる ・何度も同じことをしゃべる ・呼吸が速くなる ・吐き気、おう吐がおこる	
泥酔期 (0.31~0.40)	日本酒 (7合~1升) ビール中びん (7~10本) ウイスキー・ボトル (1本)	・まともに立てない ・意識がはっきりしない ・言語がめっちゃめっちゃになる	
昏睡期 (0.41~0.50)	日本酒 (1升以上) ビール中びん (10本以上) ウイスキー・ボトル (1本以上)	・ゆり動かしても起きない ・大小便はたれ流しになる ・呼吸はゆっくりと深い ・死亡	

生命の危機！



アルコール中毒 (DSM-5)

- A) 最近のアルコール摂取.
- B) 臨床的に意味のある**不適応性の行動的または心理学的変化**(例:**不適切な性的または攻撃的行動、気分の不安定、判断力の低下**)が、アルコール摂取中または摂取後すぐに発現する.
- C) 以下の徴候または症状のうち1つ(またはそれ以上)が、アルコール使用中または使用後すぐに発現する.
- (1) ろれつの回らない会話歩行不安定
 - (2) 強調運動障害
 - (3) 不安定歩行
 - (4) 眼振
 - (5) 注意または記憶の低下
 - (6) 昏迷または昏睡

社会的生命の危機！

実際にあった事例を改変したもの ＋インターネットから(1)

1. 「イッキ、イッキ」はアルコールハラスメント

ある運動部での飲み会で、5年生のA君が、「今日は皆で順番にイッキ行くぞー」と声をかけた。新入生のB君は「最初にイッキ行きまーす。」と言って一気飲みをした。新入生のC君とD君は「イッキ、イッキ」と掛け声をかけて場を盛り立てた。皆で順番にイッキを繰り返すうち、ふと気がつくやうにB君が嘔吐して、意識不明になっている。なんとか救急車を呼んで病院に搬送した。B君は治療を受け回復したが、アルコールハラスメントだと言って警察に被害届を出した。A君は傷害罪、C君とD君は傷害現場助勢罪の疑いで取り調べを受けた。

2. 新歓での未成年の飲酒が社会問題化

ある運動部の新歓の飲み会。新入生のAさんが「よろしくお願いしますー」と言って、「乾杯」とビールジョッキを4年生のBさんに差し、Bさんもジョッキを差し出し乾杯した。その瞬間、そばにいた2年生のC君がスマホで写真を撮り、新歓コンパの風景としてSNSにアップした。Aさんはあと2週間で20歳の誕生日であった。その写真は週刊誌に使われ、「D大学、飲み会で未成年者飲酒」として社会問題化した。学部長と部活の顧問が謝罪の記者会見を行い、部活動は無期限停止となった。

実際にあった事例を改変したもの ＋インターネットから(2)

3. 眠前の飲酒で酒気帯び運転、懲戒免職

公務員である医師Aは部署の忘年会でビールと日本酒を飲んだのち、さらに2次会で2時までウイスキーを飲んだ。その後タクシーで帰宅し、就寝した。翌朝、7時半に起床、昨夜の酒の影響の自覚はなかった。8時半に通勤のため自家用車を運転して自宅を出発、途中の交差点で無理に右折しようとした対向車と軽い接触事故を起こした。

警察が到着し、まず呼気アルコール検査を受けたところ、酒気帯び運転と判定され検挙された。その後Aは懲戒免職となった。

4. 懇親会后に酔って複数で器物損壊による損害賠償と処分

運動部の交流戦後に行われた懇親会。宿舎に帰る途中の店のガラスドアを酔った複数の学生が損壊した。警察に通報され、事情聴取された。大学側にも連絡があり、部の顧問に連絡された。

本人、部の主将、顧問と学部長から店への謝罪が行われた。店からはドアの修理代と、復旧するまでの警備員代(百数十万円)が請求された。当事者に対しては学部長からの嚴重注意処分とした。

実際にあった事例を改変したもの ＋インターネットから(4)

5. 飲み会の帰りに電車で触ってしまい、強制猥褻罪

47歳の会社員です。

会社の飲み会の帰りで終電間際の電車に乗りました。車内は奥に詰めることもできないくらい満員で、私はドア付近に立っていました。

隣にいたスーツ姿女性も少し酔っているようで、眠そうにぼんやりと立っていました。いけないと思いながらも、私はその女性に触れてしまいました。

女性が身じろぎし、近くにいた男性が異変に気付き、私は捕まえられてしまいました。そのまま私は駅員に引き渡され、警察に逮捕されました。

下着の中まで手を入れてしまったことから私は「強制猥褻罪」にあたり、通常の痴漢よりも重い罪に問われると聞いてびっくりしました。

犯罪へのアルコールの関与(米国)

- ✓ 致命的な自動車事故の70%、殺人の60%、ナイフによる死傷事件の88%、配偶者への殴打事件の65%、暴力による児童虐待の55%、強盗の50%は飲酒が関係している。
- ✓ 14歳以降で性被害を受けたことがあると女性の80%が報告しており、性的暴行を加えたことがあると男性の64%が報告している。これらの多くが加害者や被害者が飲酒していたとされている。
- ✓ 大量飲酒経験のある女子大学生では性的暴行、特に準強姦の被害に遭うリスクが高まる。

Steele & Josephs, 1990; Testa & Cleveland, 2017; Davis KC et al., 2015

なぜこのようなことが起きるのか、メカニズムを考えて、対策を立てよう！

Alcohol Myopia Model から

アルコールの急性効果

- 単におしゃべりになり、人懐っこくなり、いちゃつくようになる。
- 飲酒関連の暴力による殺人や飲酒が関連する危険な性行為によるAIDS、飲酒運転による事故死。
- アルコールによるジキル氏とハイド氏効果：同じ人で、飲んでいない時には温厚な人が、飲酒時には暴力的な野蛮人に変身する。また、**何であのような立派な人がそんなことをしたのか……**

発揚気質

Kurt Schneider, (独)1887.1.7 – 1967.10.27.

明朗、快活、頼りになる！



気分がいつも明るく、活動的であるために社会環境に適応している限りにおいては、優れたリーダーとして評価される場合もある。

一方で、自制心の欠如によって軽率かつ興奮しやすいために問題行動が表れる可能性もある。



Alcohol Myopia Model

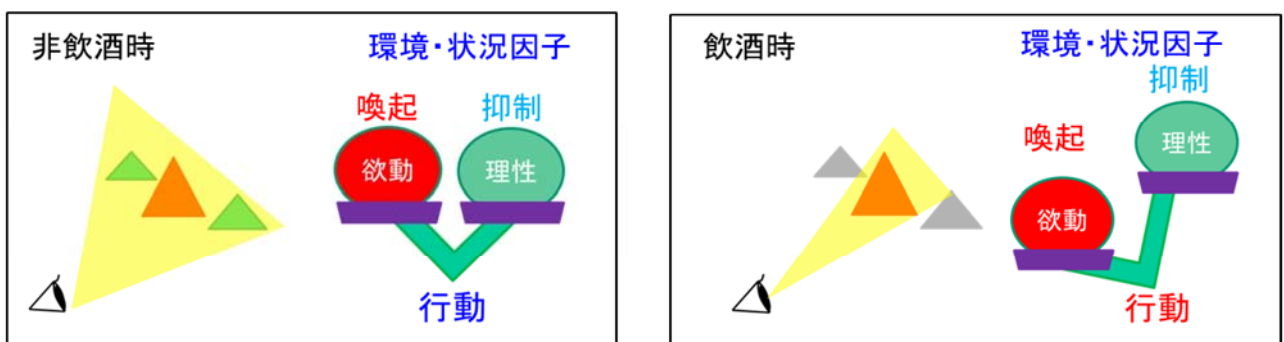
アルコール視野狭窄仮説

アルコールによる視野狭窄仮説 (Alcohol Myopia Model, AMM)

- 我々は通常、内的及び外的なキュー(きっかけ)を知覚し、そのキュー及びそのキューに付随する様々な情報を加工して、行動している。例えば、行動(欲動)を喚起するキューと抑制(理性)するキューがあり、そのバランスで行動を決定している。
- この認知過程は、注意力に大きく影響を受ける。アルコールはこの注意力を弱め、視野を狭める。これをアルコールによる視野狭窄(Alcohol Myopia)と呼ぶ。
- 即ち、飲酒すると、注意力が狭まるので、その状況で欲動を喚起する目立つキューに注意が向き、欲動を抑制するキューへの注意は抑制される。
- なお、この視野狭窄は飲酒量が増えるとより強くなる。

Steel & Josephs, 1990; Giancola PR, et al., 2010

アルコールによる視野狭窄仮説 (Alcohol Myopia Model, AMM)



(例) 飲酒後の運転

- 将来のために行動(理性に基づく行動)を抑制する目立たないキュー
早く帰りたい。しかし、飲酒による事故や飲酒運転での逮捕など、将来がなくなるぞというキューを基に、タクシーや代行で帰宅する行動をとる。
- 速やかに効果の出る行動(欲動に基づく行動)を促す目立つキュー
早く帰りたい。タクシーや代行を待つのは面倒、近くに駐車してある車、ポケットの鍵というキューを元に、運転して帰るという手軽な行動をとる。

Steel & Josephs, 1990

アルコールと危険な性行為

飲酒して、性欲が高まるとは、アルコールによる視野狭窄のために、

冷静で、行動を抑制するようなキュー（性感染や望まない妊娠など）よりも、

性欲に関連した、目立つキュー（近くにいる異性など）に注意が焦点化し、危険な性行為に及ぶ可能性が高まる。

アルコールと自殺

自殺を真剣に考えている人は、素面でも、問題が奇跡的に解決されるか、死ぬ、という2つの選択に注意が絞られており、他の解決策に注意を向けることができなくなっている。

飲酒すると、アルコール視野狭窄により、現在ある切迫した苦悩を、突出して簡単な、そしてすぐに解決できる方法である自殺行動に注意が焦点化し、自殺行為のリスクが高まる。

アルコールと攻撃性

敵対するような状況では、アルコールによる視野狭窄により、

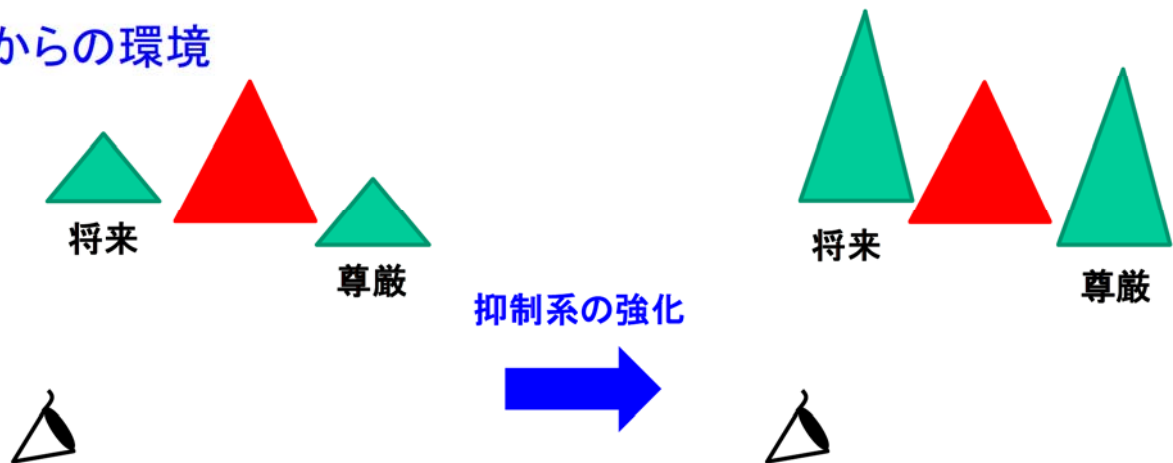
攻撃を惹起するような、目立つ、挑発的なキュー（例：実際にある、または思い込んでいるだけの侮辱に対しての報復の衝動）に注意が絞られるために攻撃性は増強し、

攻撃を抑制する、目立たない、挑発的でないキュー（例：報復を行ったことによってもたらされる結果への思い）への注意は減弱するため、攻撃行動にでる可能性が高まる。

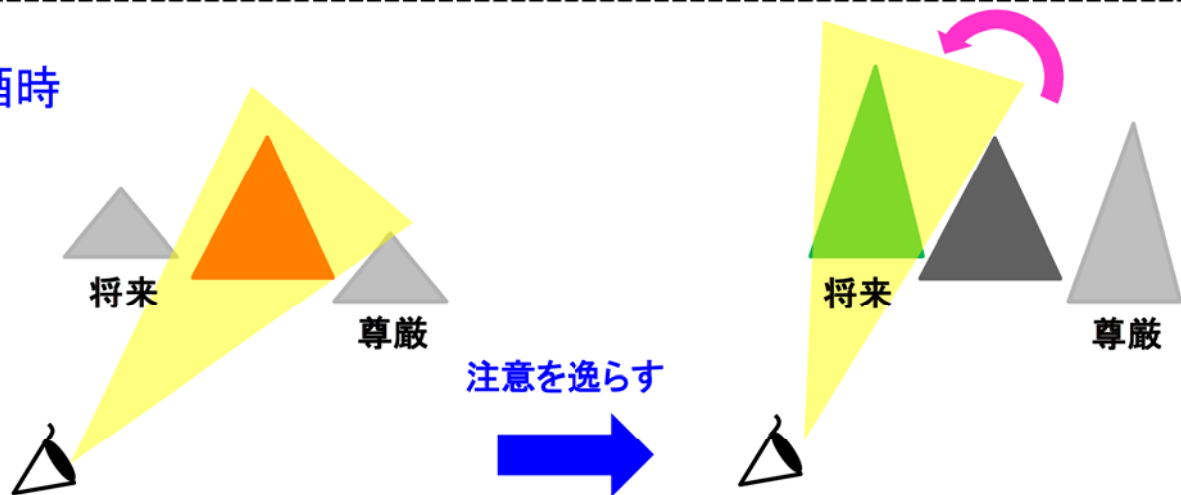
アルコールの害から、自身を守り、仲間を守り、組織を守るための戦略

Alcohol Myopia Model の利用

普段からの環境



飲酒時



注意を逸らすことによる攻撃性の減弱

否定的な感情 怒らせたり、イライラさせたり、痛みをきたすような**嫌悪刺激**から注意を逸らす。

飲酒時 **怒りの感情** 情緒的に「激しい」怒りを呼び起こす**刺激**から、「より冷めた」**挑発的でない知的なこと**に注意を向けさせる。

敵意の認知的反芻 **挑発的な出来事を反芻して考える**ことから注意を逸らす。

普段も大事 **自己認識** もともと本人にある**適切な社会的行動**についての考えに注意を向けさせることによって、**狭窄した視野を解放し、攻撃性を弱める。**

共感 挑発している相手に対してもともと**持っていた共感的な考えや感情**に焦点を向けさせることによって、**狭窄した視野を解放し、攻撃性を弱める。**

事例に学ぶ

○△県警2警部補を書類送検 女性警官被害

2017.3.2 毎日新聞

○△県警は2日、女性警察官にわいせつな行為をしたとして、58歳と57歳の警部補の男2人を強制わいせつ容疑で○△地検に書類送検したと発表した。送検容疑は2015年9月18日、○△市の飲食店で開かれた飲み会で、58歳警部補が女性警察官を背後から押さえつけ、57歳警部補が上から覆いかぶさり、体を触るなどしたとしている。

県警によると、飲み会には16人が参加し、同課の巡查長(30)がわいせつ行為を助けたり、巡查部長(29)がスマートフォンで写真を撮ったりしていた。58歳の警部補は「女性の態度が気に入らず、辱めようとした」と話しているという。

さらに58歳の警部補らは14年3月以降、課内でセクハラに当たる言動を繰り返し、酒席では男性課員に氷の口移しなど宴会芸を強要していた。同課では巡查部長(47)が同僚に平手打ちを加えるなどパワハラやセクハラが続いていた。同日付で2人をそれぞれ停職3カ月と同1カ月の懲戒処分にし、他にも課内でセクハラやパワハラ行為が繰り返されていたとして、同課に所属していた5人を減給や戒告などの処分にした。送検された2人は同日付で依願退職した。

○△県警2警部補を書類送検 女性警官被害

2017.3.2 毎日新聞

○△県警は2日、女性警察官にわいせつな行為をしたとして、58歳と57歳の警部補の男2人を強制わいせつ容疑で○△地検に書類送検したと発表した。送検容疑は2015年9月18日、○△市の飲食店で開かれた飲

普段からハラスメントを許容する雰囲気があり、
以前から飲み会でも止める人はおらず、
飲酒時、集団で視野狭窄となり、
ハラスメントがエスカレートする。

酒会に出席していた。同日付で2人をそれぞれ停職3カ月と同1カ月の懲戒処分にし、他にも課内でセクハラやパワハラ行為が繰り返されていたとして、同課に所属していた5人を減給や戒告などの処分にした。送検された2人は同日付で依願退職した。

自己認識の強化

1. この講演をきっかけにアルコールの怖さを認識しよう！
2. 普段からハラスメントに敏感な職場(部活)環境を作ろう！
 - 下ネタ発言や異性交遊の話題、女性蔑視の発言などセクハラに通じることはいししない
 - いじりや侮辱的な発言、暴言・暴力、脅しなどパワハラに通じることはいししない
 - もう学位指導をしない、こんなこともわからないのか、こんなことサルでもわかる、などアカハラに通じることはいししない
3. ハラスメントを指摘できる職場環境を作ろう！
 - そのような場面に出会ったら、その人やその組織の将来のために、愛をこめて、“先生、それって、○○ハラと受け取られてしまうと思いますよ”と啓発できる職場にする。

各個人のアルコール視野狭窄対策

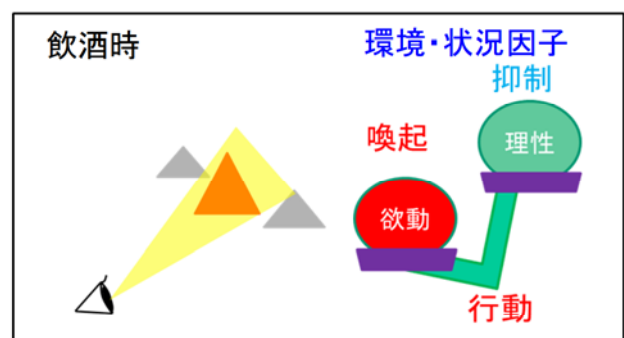
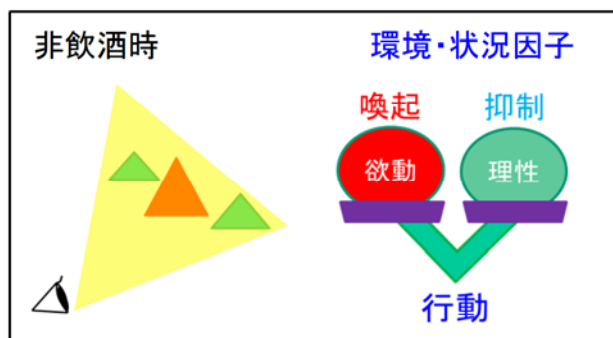
• 自己防衛

- 適切な社会的行動とは何か
- どのようなときに自分が視野狭窄になるのか
- 視野狭窄になったらどのような行動をとりやすいのか
- どうすれば視野狭窄になっても問題を起こさないのかについて考えておく。
- 飲酒後の帰宅時の危険性にも注しておく。

• 集団防衛(勇気ある友情)

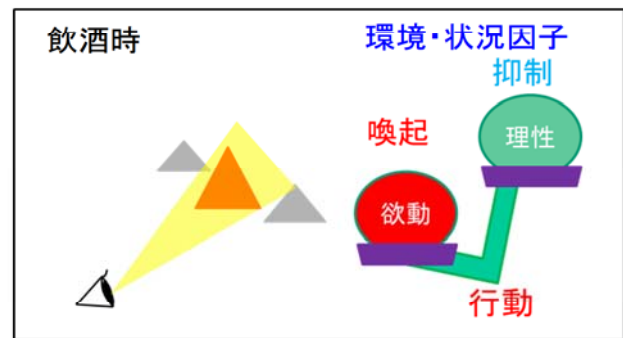
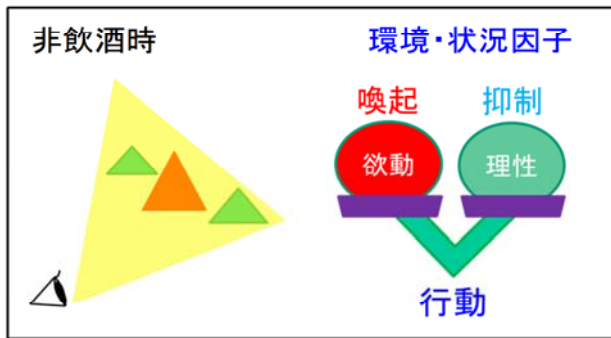
- 各人で、仲間が視野狭窄になったら、どのように注意を他に向けさせるかを考える
- 各人で、自分が視野狭窄を指摘されたらどうするかについて話し合っておく。

AMMに基づくアルコール問題への対処(提案)



対処方法

AMMに基づくアルコール問題への対処(提案)



対処方法

- 自己認識を強化しておく
- 普段からの組織(部活)環境を調整しておく
- どのような状況で視野狭窄になるのか認識しておく。
- 飲酒時、視野狭窄による問題行動に発展しそうな人がいたときの対処を考えておく
- 飲酒後は、一人で帰らない、タクシーを使うなど。

Giannicola PR, et al., 2010

クラブ・サークル活動向け

部活の落とし穴－体育会系の視点

- 精神論や根性論、上下関係、体力の重視を特徴とする。日本では大学運動部(いわゆる「体育会」に属する)やスポーツ選手養成組織で育まれることが多い。
- 日本の部活動では、**年功序列・上意下達型の縦社会を形成**する
場合が多い。例えば「**4年神様、3年貴族、2年平民、1年奴隷**」
など。ただ、「文化系」のクラブ活動でもチームワークで活動する
場合には体育会系的な部分があるとされている。◆ **パワハラ**の温床
- 欧米では**男性優位主義的な気質**も見られることから、ホモソーシ
ヤルの典型とする考えもある一方、上意下達型の命令系統を重視
する女性の組織においても見られる。◆ **セクハラ**の温床
- また**パワーハラスメント**などの認識が社会に広まったことで、先輩
部員による度が過ぎた厳しい指導などは「**鍛錬の名を借りたイジメ**
」と取られ、**見直されるよう**にもなっている。

ウィキペディア「体育会系」を編集

部活の落とし穴－体育会系の視点

- 精神論や根性論、上下関係、体力の重視を特徴とする。日本では大学運動部(いわゆる「体育会」に属する)やスポーツ選手養成組織で育まれることが多い。
- 日本の部活動では、**年功序列・上意下達型の縦社会を形成**する
場合が多い。例えば「**4年神様、3年貴族、2年平民、1年奴隷**」な
ど。ただ、「文化系」のクラブ活動でもチームワークで活動する
場合には体育会系的な部分があるとされている。◆ **パワハラ**の温床
- 欧米では**男性優位主義的な気質**も見られることから、ホモソーシ
ヤルの典型とする考えもある一方、上意下達型の命令系統を重視
する女性の組織においても見られる。◆ **セクハラ**の温床
- また**パワーハラスメント**などの認識が社会に広まったことで、先輩
部員による度が過ぎた厳しい指導などは「**鍛錬の名を借りたイジメ**
」と取られ、**見直されるよう**にもなっている。

ここにAlcohol Myopia
が生じたら？

ウィキペディア「体育会系」を編集

普段の環境、飲酒時の環境、個人の意識

普段の部活・サークル環境

- 普段からハラスメントに敏感な部活・サークル環境にする。
- すべての部員が、飲酒時には視野狭窄が生じて加害者・被害者になる可能性のあることを認識する。

飲み会の環境

- 飲み会の前には、「今日は無礼講！」とはいわず、「Alcohol Myopiaに注意しながら、楽しく飲みましょう！」「イッキ飲みは禁止です」と誓って(?)、飲み会に規制を加えよう。
- 飲み会中に、ハラスメント的行為を見たら、その人の注意を他に向けさせたり、危険であることを指摘して、エスカレートさせない。

個人の意識

- アルコール視野狭窄になりやすい人は、過量飲酒しない。
- ハラスメントや犯罪に繋がる行動へのキューを避ける。例えば、後輩や女性に飲酒を強要しない、飲酒して集団で歩き回らない、など。

AMMに基づく、新しい部活理念

1. この講演をきっかけにアルコールの怖さを認識しよう！
2. 普段からハラスメントに敏感な部活環境を作ろう！
 - 先輩後輩、スタメン、ベンチ、マネージャーすべての部員各個人の尊厳を守る、相互尊重⇔機能的な結びつき(役割分担の明確化)
 - いじりや侮辱的な発言・行為、暴言・暴力、強要(飲酒や部活出席、無用な雑用など)など個人の尊厳を侵すようなハラスメントは行わない。
 - 下ネタ発言や女性蔑視の発言などセクハラに通じることはしない
3. ハラスメントを指摘できる部活環境を作ろう！
 - そのような場面に出会ったら、その人やその部活の将来のために、愛をこめて、“先輩、それって、〇〇ハラと受け取られてしまうと幸いですよ”と啓発できる部活にする。

君たちで、新しいスタイルの医学界、医療界の構築を！

飲酒関連の**武勇伝**は、

アルコール視野狭窄に操られた

軽率な行動のお話

に過ぎない…？！



Take Home Messages

1. 飲酒に伴う、暴力や性犯罪は多い。
2. それらにはアルコールによる視野狭窄 (Alcohol Myopia) が関係している可能性がある。
3. 普段から、ハラスメントを許さない職場環境にする。
4. 普段から、飲酒時に問題行動があった場合には、注意し合うことを約束しておく。
5. 各個人で、飲み始めから帰宅するまで、視野狭窄に伴う問題行動を起こさないように気を付ける。

あなた自身、先輩、後輩、同僚を守るため、ハラスメントに繋がりそうな伝統や習慣を同定して、みんなで修正しておきましょう！

後悔しない、楽しい飲み方をしましょう！

Fin

第6回医学教育シンポジウムを終えて

野村 英樹（金沢大学附属病院総合診療部）

今回の医学教育シンポジウムでは、いつにも増して、多くの参加者が熱心に最後まで積極的に議論に参加されていた。このことは、医学生や研修医による性的非行が決して対岸の火事ではなく、医学教育者にとって身近で深刻な悩みであることを意味している可能性がある。

二つ、印象に残ったディスカッションをご紹介します。

河野先生は、被害者の立場にたつ配慮、中でも、セカンド・レイプと呼ばれる心ない対応を決して取ってはならない、ということを強調されていた。特に、被害者にも何らかの問題（露出が多い服を着ていたから、夜中に出歩いていたから、など）があったのではないか、という言葉に再び傷つく被害者が多いという。一方、伊豫先生のお話の中では、大量飲酒をする女性は性犯罪の被害に遭いやすい、という統計的な事実が紹介された。

このことは、被害を予防するという意味で大量飲酒はしないように伝える教育者の役割と、実際に被害に遭ってしまった被害者を傷つけないという教育者や医療者の役割との間にジレンマが生じることを意味している。私たちはどちらも疎かにすべきではなく、自らリスクのある行動を取らないこと、そして、被害者にも問題があるという考え方は誤りであることを、どちらも学習者に確実に伝えて行く必要があるのだろう。

もう一つは、アルコール性の”視野狭窄”について注意を喚起すること以外に、非行を防ぐために教育者にできることがあるのか、という議論である。その中で、被害者の気持ちを思って胸が痛む、という経験を繰り返すことが大事なのではないか、と参加者の一人が発言され、皆が大きく頷いた場面があった。結局のところ、被害者がどんなに辛い日々を過ごすことになるのかを想像できる者は、性的非行に及ぶことはないだろうと思われる。性的非行、性犯罪の被害者の苦悩を真正面からカリキュラムの中で採り上げることが、現在各大学（医学部）がまず取り組むべき課題であると思われる。

編集

日本医学教育学会 第19期プロフェッショナリズム・行動科学委員会

・宮田 靖志(愛知医科大学地域医療教育学寄附講座・医学教育センター)

・野村 英樹(金沢大学附属病院総合診療部)

・井上 千鹿子(日本医科大学医学教育センター)

発行所

日本医学教育学会 第18期 倫理・プロフェッショナリズム委員会

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4階

学会支援機構内 医学教育学会係

発行日

2017年10月6日